

音声を用いた既婚声優の判別問題

@y_benjo

Abstract

今回我々は、「パートナーの存在を公表する声優の声にはなんらかの共通した特徴が存在する」という仮定に基づき、音声情報を用いた既婚者か否かの判別問題に取り組む。女性声優 53 名のラジオなどから得られた音声データに基づく実験の結果、精度 43.8%、再現率 71.7%、F 値 0.544 で既婚声優の判別を実現した。

Keywords: 声優統計, 話者認識, 既婚者判別

1. はじめに

役者の演技を評する際によく使われる言葉に「人生経験が演技に現れている」という表現がある¹。声と(単純な加齢などではない)人生経験との関係性は現状全く明らかになっていない²。もし、なんらかの人生経験によって声質や演技が変化し、その変化が特殊に訓練された一部の人間に判別可能なものであれば、それは統計が取り組むことができる問題である。そこで、今回我々は女性声優の声と人生経験、特にパートナーの存在の関心に着目することにした。

しかし、この問題に直接取り組むのは非常に困難である。何故ならば、もしこのようななんらかの人生経験を起点とした声質の変化が存在したとして、我々が観測できる声優の音声情報と声優の人生経験との間には埋めることができず、かつ、観測することができないタイムラグが存在するためである。このタイムラグは

- 声優の発声と我々の観測との間にあるタイムラグ
- 声優の人生経験とその(望むと望まざるにかかわらず)公表との間にあるタイムラグ

の二つが存在する。

一点目については、そもそも、我々は親類縁者や友人、職場に声優がいないため、彼女たちの音声を観測できるのはアニメやラジオ、CD からということになる。それらの収録は放映日に先行することが

わかってはいるが、その先行具合については作品ごと、および声優のスケジュールごとに異なる。そのため、それらの音声の声優の口から出たのがいつなのか、という点が正確に把握することは不可能である。

では次に、毎週決まった時間にラジオ番組の生放送を行う声優、例えば井口裕香³を考えてみよう。もし、「井口裕香のむ〜んこ(^ω^)」における音声を継続的に観察することによって彼女の人生経験との関係を分析しようとした場合、音声の発声と我々のその観測との間にタイムラグは存在しないであろう。しかし、彼女の人生経験と我々によるそれらの観測には決定的なタイムラグ(二点目のタイムラグ)が存在してしまう。例えば、井口裕香が 2013 年 8 月 5 日の放送で結婚報告したとしよう。しかし、井口裕香がいつ当該男性と出会い、交際を開始し、結婚を決意し、役所に書類を提出したのか、我々には観測不可能である。結婚の報告そのものにしても、「半年前に結婚していた」といった報告や、「既に一児の母である」といった報告という可能性すらある⁴。これは雑誌などによるスキャンダルの発覚についても同様である。このように、人生経験と我々によるそれらの観測との間には埋められないタイムラグが存在してしまう。

そこで本研究では、声優の声と人生経験との分析の第一段階として、「公表された結婚情報と声」の関係について取り組む。具体的には、「結婚を公表した声優の声には何らかの共通した特徴が存在し、結婚についての情報が何もない声優のそれとの間になんらかの差がある」という仮説に基づき、音声に基づく既婚声優判別問題に取り組む。この仮定は非常に

Email address: ybenjo.repose@gmail.com (@y_benjo)

URL: <http://d.hatena.ne.jp/repose/> (@y_benjo)

¹「演技に色気がないのは男性経験の少なさが原因だ」といったシチュエーションの成年コミック作品も複数存在する

²属性推定などの文脈においてそういった既存研究が存在する可能性はある

³井口裕香のむ〜んこ(^ω^)

⁴新井里美, ameblo.jp/arai-yourin/entry-11208216730.html